

注3

大学番号：私164

[平成24年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

金沢工業大学 工学部 情報工学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人金沢工業大学
平成27年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に
() 書きにて、現在の名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部(平成◇◇年度より変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。
- 3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人金沢工業大学

(2) 大学名

金沢工業大学

(3) 大学の位置

〒921-8501

石川県野々市市扇が丘7番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イズミヤ トシオ) 泉屋 利郎 (平成4年6月)		
学長	(イシカワ ケンイチ) 石川 憲一 (平成6年4月)	(イシカワ ケンイチ) 石川 憲一 (平成6年6月)	学長の就任月が間違っていたため修正 (26)
学部長	(ハナオカ リョウイチ) 花岡 良一 (平成24年4月)	(ワタナベ ヤスオ) 渡辺 弥壽夫 (平成26年4月)	人事異動 平成26年4月1日 (26)
学科長等	(ワタナベ ヤスオ) 渡辺 弥壽夫 (平成24年4月)	(ナガタ シゲミ) 長田 茂美 (平成26年4月)	人事異動 平成26年4月1日 (26)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)
 平成27年度に報告する内容 → (27)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 情報工学科 学士(工学)	4年	200人	年次人	800人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 提出年度まで の平均入学定 員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	200 (-) [-]	人	200 (-) [-]	人	200 (-) [-]	人	200 (-) [-]	人	1.20倍	一倍	編入学を複数年次で実施している。平成26年度は3年次が2名入学した。(26)平成27年度は3年次が9名入学した。(27)
志願者数	939 (-) [-]	-	1476 (-) [-]	-	1498 ((2)) (-) [-]	-	1365 ((9)) (-) [-]	-			
受験者数	927 (-) [-]	-	1438 (-) [-]	-	1483 ((2)) (-) [-]	-	1344 ((9)) (-) [-]	-			
合格者数	638 (-) [-]	-	770 (-) [-]	-	559 ((2)) (-) [-]	-	655 ((9)) (-) [-]	-			
B 入学者数	241 (-) [-]	-	295 (-) [-]	-	214 ((2)) (-) [-]	-	218 ((9)) (-) [-]	-			
入学定員超過率 B/A	1.20		1.47		1.07		1.09				

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 241	[-] (-) -	[-] (11) 306	[-] (-) -	[-] (8) 222	[-] (-) -	[-] (7) 225	[-] (-) -	
2年次	/		[-] (-) 218	[-] (-) -	[-] (34) 310	[-] (-) -	[-] (48) 249	[-] (-) -	
3年次			/		[-] (-) 183	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (37) 274	[-] (-) -
4年次	/				[-] (-) 154	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -
計			[-] (-) 241	[-] (11) 524	[-] (42) 715	[-] (92) 902			

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	241 人	48 人	平成24年度	12 人	— 人	・他の教育機関への入学・転学(6人) ・就職(1人) ・学生個人の心身に関する事情(2人) ・その他(3人)	19.9 %
			平成25年度	15 人	— 人	・就学意欲の低下(4人) ・他の教育機関への入学・転学(4人) ・学生個人の心身に関する事情(2人) ・その他(5人)	
			平成26年度	21 人	— 人	・就学意欲の低下(3人) ・他の教育機関への入学(1人) ・就職(1人) ・除籍(2人) ・学力不足(9人) ・その他(5人)	
			平成27年度	0 人	— 人		
平成25年度 入学者	295 人	21 人	平成25年度	9 人	— 人	・他の教育機関への入学・転学(5人) ・除籍(1人) ・その他(3人)	7.1 %
			平成26年度	12 人	— 人	・就学意欲の低下(1人) ・他の教育機関への入学(2人) ・除籍(1人) ・学力不足(2人) ・経済的理由(1人) ・その他(5人)	
			平成27年度	0 人	— 人		
平成26年度 入学者	216 人	6 人	平成26年度	6 人	— 人	・就学意欲の低下(2人) ・他の教育機関への入学(1人) ・除籍(1人) ・その他(2人)	2.8 %
			平成27年度	0 人	— 人		
平成27年度 入学者	227 人	0 人	平成27年度	0 人	— 人		0 %
合 計	979 人	75 人					7.7 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学部 情報工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
修学基礎科目	修学基礎 A	1 前	2								兼31 兼33 兼30 兼28 兼29 授業科目運営上の理由により 教員を変更 (24) (27) 授業の充実を図るため教員を 追加 (25) (26) 他課程の教員も担当 (27)
	修学基礎 B	1 後	2								兼31 兼32 兼29 兼28 兼29 授業科目運営上の理由により 教員を変更 (24) (27) 授業の充実を図るため教員を 追加 (25) (26) 他課程の教員も担当 (27)
	技術者と社会	2前後	2								兼4 兼7 兼4 授業の充実を図るため教員を 追加 (25) 授業科目運営上の理由により 教員を変更 (26)
人間形成基礎科目	日本学 (日本と日本人) A	2前後	1								兼2
	日本学 (日本と日本人) B	2前後	1								兼2
	科学技術者倫理	3前後	2								兼6 兼4 授業の充実を図るため教員を 追加 (26)
	人文社会科学・外国語 技術マネジメント	3前後	2								兼4 兼2 兼3 授業科目運営上の理由により 教員を変更 (26) 授業の充実を図るため教員を 追加 (27) 他学科の教員も担当 (27)
	日本文学の世界	1 後 2前後		2							兼1
	人間と哲学	1 後 2前後		2							兼1
	法と社会	1 後 2前後		2							兼1
経済と社会	1 後 2前後		2							兼1	

人間形成基礎科目	人文社会科学・外国語	こころとはたらき	1 後 2前後	2								兼2 兼4 他課程の教員も担当 (26) 授業の充実を図るため教員を追加 (27)
		ドイツ語圏と日本	1 後 2前後	2								兼1
		東アジア諸国の社会と文化	1 後 2前後	2								兼1
		アメリカの文化と風土	1 後 2前後	2								兼1 授業の充実を図るため教員を追加 (26)
		イギリス文化圏の人々と風土	1 後 2前後	2								兼1
		韓国の文化と社会	1 後 2前後	2								兼1
		芸術へのアプローチ	1 後 2前後	2								兼1 授業の充実を図るため教員を追加 (26)
		科学技術と社会	1 後 2前後	2								兼1 兼3 兼2 兼3 授業科目運営上の理由により教員を変更 (24) (27) 授業の充実を図るため教員を追加 (26)
		技術者のためのコミュニケーション	1 後 2前後	2								兼1
		国際関係論	3 前	2								兼1
		危機管理論	3 前	2								兼1
		日本国憲法	3前後	2								兼1
		ドイツ語 I	3 前	2								兼1
		ドイツ語 II	3 後	2								兼1
		中国語 I	3 前	2								兼1
		中国語 II	3 後	2								兼1
		韓国語 I	3 前	2								兼1
		韓国語 II	3 後	2								兼1
		生涯スポーツ	健康・体力づくり	1 前	1							
		生涯スポーツ演習	1 後	1								兼7 兼6 授業の充実を図るため教員を追加 (27)

人間 形成 基礎 科目	人間 と 自然	人間と自然セミナーⅠ	1 前								兼4 兼3 授業の充実を図るため教員を 追加 (27)
		人間と自然セミナーⅡ	2前後								兼4 兼3 授業の充実を図るため教員を 追加 (27)
		人間と自然セミナーⅢ	3 後								兼4 兼3 授業の充実を図るため教員を 追加 (27)
	生涯 学習	指定放送大学科目 工業概論	2 前		2		1				兼12 兼10 兼1 教職科目充実のため科目を追 加 (25) 他課程・他学科の教員が担当 (26) 授業の充実を図るため教員を 追加 (26) (27)

英語科目	英語	イングリッシュトピックスⅠ	1 前	2	兼6 兼24 兼19 兼16 授業の充実を図るため教員を追加 (25) (26) 授業科目運営上の理由により教員を変更 (27)
		イングリッシュトピックスⅡ	1 後	2	兼9 兼24 兼19 兼16 授業の充実を図るため教員を追加 (25) (26) 授業科目運営上の理由により教員を変更 (27)
		イングリッシュトピックスⅢ	1・2前	2	兼7 兼24 兼19 兼16 授業の充実を図るため教員を追加 (25) (26) 授業科目運営上の理由により教員を変更 (27)
		イングリッシュトピックスⅣ	1・2後	2	兼8 兼24 兼19 兼16 授業の充実を図るため教員を追加 (25) (26) 授業科目運営上の理由により教員を変更 (27)
		イングリッシュトピックスⅤ	1・2前	2	兼6 兼24 兼19 兼16 授業の充実を図るため教員を追加 (25) (26) 授業科目運営上の理由により教員を変更 (27)
		ビジネスコミュニケーションⅠ	1・2後	2	兼3 兼24 兼19 兼16 授業の充実を図るため教員を追加 (25) (26) 授業科目運営上の理由により教員を変更 (27)
		ビジネスコミュニケーションⅡ	2 前	2	兼2 兼24 兼19 兼16 授業の充実を図るため教員を追加 (25) (26) 授業科目運営上の理由により教員を変更 (27)
		アカデミックリーディングⅠ	1・2後	2	兼4 兼24 兼19 兼16 授業の充実を図るため教員を追加 (25) (26) 授業科目運営上の理由により教員を変更 (27)

英語科目	英語	アカデミックリーディングⅡ	2 前	2	兼2 兼24 兼19 兼16 授業の充実を図るため教員を追加 (25) (26) 授業科目運営上の理由により教員を変更 (27)
		ライティング-プレゼンテーションⅠ	1・2後	2	兼2 兼24 兼19 兼16 授業の充実を図るため教員を追加 (25) (26) 授業科目運営上の理由により教員を変更 (27)
		ライティング-プレゼンテーションⅡ	2 前	2	兼1 兼24 兼19 兼16 授業の充実を図るため教員を追加 (25) (26) 授業科目運営上の理由により教員を変更 (27)
		イングリッシュセミナーⅠ	1・2後	2	兼2 兼24 兼19 兼16 授業の充実を図るため教員を追加 (25) (26) 授業科目運営上の理由により教員を変更 (27)
		イングリッシュセミナーⅡ	2 前	2	兼1 兼24 兼19 兼16 授業の充実を図るため教員を追加 (25) (26) 授業科目運営上の理由により教員を変更 (27)
		実用英語演習Ⅰ	1 前	2	兼3 兼5 兼2 兼16 授業科目運営上の理由により担当教員を決定 (25) 授業の充実を図るため教員を追加 (26) 授業科目運営上の理由により教員を変更 (27)
		実用英語演習Ⅱ	1 前	2	兼1 兼5 兼2 兼16 授業科目運営上の理由により担当教員を決定 (25) 授業の充実を図るため教員を追加 (26) 授業科目運営上の理由により教員を変更 (27)
		インテンシブイングリッシュ	2 前	2	兼1 兼2 兼1 兼16 授業科目運営上の理由により担当教員を決定 (25) 授業の充実を図るため教員を追加 (26) 授業科目運営上の理由により教員を変更 (27)

数理基礎科目	数理基礎	線形代数Ⅰ	1 前	2						兼18 兼29 兼17 兼15 兼27 授業科目運営上の理由により 教員を変更 (24) (25) (27) 授業の充実を図るため教員を 追加 (26)
		線形代数Ⅱ	1 後	2						兼20 兼27 兼16 兼27 授業科目運営上の理由により 教員を変更 (24) (27) 授業の充実を図るため教員を 追加 (26)
		工学のための数理工 (関数・微分)	1 前	4						兼15 兼28 兼13 兼11 兼27 授業科目運営上の理由により 教員を変更 (24) (25) (27) 授業の充実を図るため教員を 追加 (26)
		工学のための数理工 (積分・微分方程式)	1 後	4						兼17 兼29 兼11 兼27 授業科目運営上の理由により 教員を変更 (24) (27) 授業の充実を図るため教員を 追加 (26)
		機械数学	1 後	2						兼5 兼6 兼5 兼3 授業の充実を図るため教員を 追加 (24) (25) 他学科の教員が担当 (26) 授業科目運営上の理由により 教員を変更 (27)
		電気数学	1 後	2						兼2 兼3 兼1 授業の充実を図るため教員を 追加 (24) 他学科の教員が担当 (26) 授業科目運営上の理由により 教員を変更 (27)
		情報数学	1 後	2	1					兼3 兼2 兼1 授業の充実を図るため教員を 追加 (24) (26) 他課程の教員及び工学部情報 工学科の兼任教員が担当 (26) 授業科目運営上の理由により 教員を変更 (27)
		環境・建築のための数理工 (関数・微積分基礎)	1 前	4						兼7 兼23 兼6 兼27 授業科目運営上の理由により 教員を変更 (24) (27) 授業の充実を図るため教員を 追加 (26)

数理基礎科目	数理基礎	環境・建築系数理	1 後	2						兼7 兼4 兼3 授業の充実を図るため教員を追加 (26) (27) 他学科の教員も担当 (27)
		環境・建築のための数理工 (微分・積分)	1 後	4					兼6 兼21 兼6 兼27 授業科目運営上の理由により教員を変更 (24) (27) 授業の充実を図るため教員を追加 (26)	
		情報のための数学	1 前	4					兼5 兼13 兼4 兼13 授業科目運営上の理由により教員を変更 (24) (27) 授業の充実を図るため教員を追加 (26)	
		基礎情報数理	1 後	2					兼4 兼15 兼4 兼18 授業科目運営上の理由により教員を変更 (24) (27) 授業の充実を図るため教員を追加 (26) 他課程の教員も担当 (27)	
		情報のための統計	1 後	2					兼6 兼13 兼4 兼10 授業科目運営上の理由により教員を変更 (24) (27) 授業の充実を図るため教員を追加 (26)	
		情報数理 A	2 前	2					兼3 兼19 兼6 兼19 授業科目運営上の理由により教員を変更 (25) (27) 授業の充実を図るため教員を追加 (26)	
		情報数理 B	2 前	2					兼3 兼2 授業の充実を図るため教員を追加 (26) 他学科の教員が担当 (26)	
		アドバンスト情報数理 A	2 後	2					兼1 兼8 兼10 授業科目運営上の理由により教員を変更 (26) (27)	
		アドバンスト情報数理 B	2 後	2					兼1 兼9 兼11 授業科目運営上の理由により教員を変更 (26) (27)	
		バイオ・化学のための数理 (関数・微積分基礎)	1 前	4					兼4 兼23 兼4 兼3 兼29 授業科目運営上の理由により教員を変更 (24) (25) (27) 授業の充実を図るため教員を追加 (26)	

数理基礎科目	数理基礎	バイオ・化学のための統計	1 後	2						兼4 兼10 兼3 兼10	授業科目運営上の理由により 教員を変更 (24) (27) 授業の充実を図るため教員を 追加 (26)
		バイオ・化学のための数理 (微分・積分)	1 後	4						兼3 兼21 兼3 兼29	授業科目運営上の理由により 教員を変更 (24) (27) 授業の充実を図るため教員を 追加 (26)
		基礎化学	1 後 2前後	2						兼3 兼5 兼2 兼5	授業科目運営上の理由により 教員を変更 (24) (27) 授業の充実を図るため教員を 追加 (26)
		基礎物理	1 後 2前後	2						兼6 兼10 兼6 兼2 兼9	授業科目運営上の理由により 教員を変更 (24) (25) (27) 授業の充実を図るため教員を 追加 (26)
		基礎生物	2前後	2						兼2 兼1	授業の充実を図るため教員を 追加 (25) 他課程の教員が担当 (26)
		技術者のための統計	2前後	2						兼8 兼5 兼10	授業科目運営上の理由により 教員を変更 (25) 授業の充実を図るため教員を 追加 (26)
		アドバンスト数理A	2 前	2						兼8 兼10	授業科目運営上の理由により 教員を変更 (27)
		アドバンスト数理B	2 後	2						兼3 兼9 兼10	授業の充実を図るため教員を 追加 (26) 授業科目運営上の理由により 教員を変更 (27)

基礎実技科目	基礎実技	プロジェクトデザイン入門	1	前	2															兼23 兼29 兼25 兼26 兼13 授業の充実を図るため教員を追加 (24) (26) 授業科目運営上の理由により教員を変更 (25) (27)	
		プロジェクトデザイン I	1	後	2																兼22 兼29 兼24 兼4 授業の充実を図るため教員を追加 (24) (25) (26) 授業科目運営上の理由により教員を変更 (27)
		プロジェクトデザイン II	2	前	2		1	2	5												兼38 兼27 兼48 兼4 授業の充実を図るため教員を追加 (25) (27) 授業科目運営上の理由により教員を変更 (26) 他学科の教員も担当 (27)
		プロジェクトデザイン実践	2	後	2					2											兼41 兼29 兼44 兼13 授業の充実を図るため教員を追加 (25) (27) 授業科目運営上の理由により教員を変更 (26) 他学科の教員も担当 (27)
		コンピュータ操作の基礎	1	前		2															兼7 兼1 兼6 兼3 授業の充実を図るため教員を追加 (24) (26) 授業科目運営上の理由により教員を変更 (25)

専 門 科 目	工学大意（情報）	1	前	2			3	1		兼2 兼1	授業の充実を図るため教員を追加（25） 授業科目運営上の理由により教員を変更（26）	
	プログラミングⅠ	1	前	2			3		2	兼4	授業科目運営上の理由により教員を変更（24）	
	離散数学	1	前	2			2		2	兼2	授業科目運営上の理由により教員を変更（24）（25） （26）	
	コンピュータシステム基礎	1	後	2			1	2		兼1 兼2	授業科目運営上の理由により教員を変更（24）（25） （26）（27）	
	プログラミングⅡ	1	後	2			5		4	兼4 兼5	授業科目運営上の理由により教員を変更（24）（27） 授業の充実を図るため教員を追加（26）	
	アカデミックライティング	2	前	1			3					授業の充実を図るため教員を追加（25）（26） 授業科目運営上の理由により教員を変更（27）
	論理回路	2	前	2			4			1 兼1	授業科目運営上の理由により教員を変更（25）（26）	
	データ構造とアルゴリズム	2	前	2			4	2	4	2	兼1	授業科目運営上の理由により教員を変更（25）（27） 授業の充実を図るため教員を追加（26）
	プログラミングⅢ	2	前	2			4	4		3	兼3 兼1	授業科目運営上の理由により教員を変更（25）（27） 授業の充実を図るため教員を追加（26）
	データベース	2	前	2			2	3				授業科目運営上の理由により教員を変更（25）
	情報工学実験Ⅰ	2	前	1			2			4	兼4 兼3	授業科目運営上の理由により教員を変更（25） 授業の充実を図るため教員を追加（26）
	コンピュータ アーキテクチャ基礎	2	後	2				2	4	1 2 4		授業の充実を図るため教員を追加（25）（26）（27） 授業科目運営上の理由により教員を変更（26）

専 門 科 目	情報ネットワーク	2 後	2		2 3		2	兼1	授業科目運営上の理由により 教員を変更 (25) (26)
	ソフトウェア工学 I	2 後	2		1 2	1	4		授業科目運営上の理由により 教員を変更 (25) (26)
	オペレーティング システム I	2 後	2		1	1	4	兼1	授業科目運営上の理由により 教員を変更 (25)
	情報工学実験 II	2 後	1		4		4	兼4 兼3	授業科目運営上の理由により 教員を変更 (25) 授業の充実を図るため教員を 追加 (26)
	形式言語とオートマトン	2 後		2	1 2			兼1	授業科目運営上の理由により 教員を変更 (25) (26)
	情報理論	2 後		2	4		4	兼2	授業科目運営上の理由により 教員を変更 (25) (26)
	数値処理	2 後		2			4	兼1	授業科目運営上の理由により 教員を変更 (25)
	ソフトウェア工学 II	3 前	2		2				
	分散システム	3 前		2	4	1		兼2	授業科目運営上の理由により 教員を変更 (26) (27)
	デジタル通信と信号処理	3 前		2	4			兼1	授業科目運営上の理由により 教員を変更 (26)
	オペレーティング システム II	3 前		2	1		1 3	兼1	授業科目運営上の理由により 教員を変更 (26)
	映像メディア処理	3 前		2	1	1	1	兼1	授業の充実を図るため教員を 追加 (26) 授業科目運営上の理由により 教員を変更 (27)
	計算論	3 前		2	2	1	4		授業科目運営上の理由により 教員を変更 (26) (27)
	コンピュータ グラフィックス	3 前		2		2 4	1 2		授業科目運営上の理由により 教員を変更 (26) 授業の充実を図るため教員を 追加 (27)
	コンピュータ アーキテクチャ設計	3 前		2	1	1		兼1	授業の充実を図るため教員を 追加 (26) 授業科目運営上の理由により 教員を変更 (27)
	数理計画	3 後		2	4		4	兼1	授業科目運営上の理由により 教員を変更 (26)
	知識情報処理	3 後		2	2 4				授業の充実を図るため教員を 追加 (26)
	Webコミュニケーション	3 後		2	4		4	兼2	授業科目運営上の理由により 教員を変更 (26) 授業の充実を図るため教員を 追加 (27)

専 門 科 目	符号と暗号	3 後		2	4	1	4			授業科目運営上の理由により 教員を変更 (26) (27)
	パターン認識	3 後		2	1	1			兼1	授業の充実を図るため教員を 追加 (26) 授業科目運営上の理由により 教員を変更 (27)
	プログラミング言語 とコンパイラ	3 後		2	1		4			授業科目運営上の理由により 教員を変更 (26)
	情報工学専門実験・演習A	3 前	3			1	1	4		2
						2	4	3	兼2	授業科目運営上の理由により 教員を変更 (26) 授業の充実を図るため教員を 追加 (27)
	情報工学専門実験・演習B	3 後	3				5	4		兼1
	情報工学応用	4 前		2	4	1	1			授業の充実を図るため教員を 追加 (27)
専 門 プ ロ ジ ェ ク ト 科 目	専門ゼミ	3 後	1			9	4	3		教授1名退職 (25) 授業の充実を図るため教員を 追加 (25) (27) 教授2名退職 (26)
	プロジェクトデザインⅢ	4通	8			9	4	3		教授1名退職 (25) 授業の充実を図るため教員を 追加 (25) (27) 教授2名退職 (26)
そ の 他	進路セミナーⅠ	3 前			1	1				
	進路セミナーⅡ	3 後			1	4	1			授業科目運営上の理由により 教員を変更 (26)
	介護等実習 (事前・事後指導)	2 前			1				兼1	他課程の教員が担当 (26)
	職業指導	4通			4				兼2 兼1	他課程の教員が担当 (26) 授業の充実を図るため教員を 追加 (27)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、

赤字で見え消し修正をしてください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
35	81	4	120	35	81	4	120	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

- ・資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【該当なし】

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

【該当なし】

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (24年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (25年5月)	バイオ・化学部応用バイオ学科の入学定員超過の是正に努めること。	留意事項	金沢工業大学バイオ・化学部応用バイオ学科における平成25年度の入学定員超過率については、別紙表1のとおりである。 応用バイオ学科は合格者を抑えることで入学定員超過率1.30倍を超えないような配慮を行ってきたが、本年度は、受験者に占める高得点者の比率が極めて高いことから、大幅な手続率の低下を想定し、合格者数を増やした。 想定通り合格者による入学手続率は過去3年間と比較し14%以上低下したが、手続者入学率が過去2年間と比較し約13%増加したため、予想を超える新入生が入学した。 来年度入試では、これまでの入試結果の傾向に受験者に占める高得点者の比率を考慮した合格者数とすることで是正を実現したい。 (25)
設置計画履行状況 調 査 時 (26年5月)	工学部情報工学科の入学定員超過の是正に努めること。	留意事項	金沢工業大学工学部情報工学科における平成26年度の入学定員超過率(別紙表2を参照)については、1.07倍となり入学定員超過は是正された。(26)
設置計画履行状況 調 査 時 (26年5月)	工学部ロボティクス学科の入学定員超過の是正に努めること。	留意事項	金沢工業大学工学部ロボティクス学科における平成26年度の入学定員超過率(別紙表2を参照)については、1.07倍となり入学定員超過は是正された。(26)
設置計画履行状況 調 査 時 (26年5月)	情報フロンティア学部メディア情報学科の入学定員超過の是正に努めること。	留意事項	金沢工業大学情報フロンティア学部メディア情報学科における平成26年度の入学定員超過率(別紙表2を参照)については、1.15倍となり入学定員超過は是正された。(26)

設置計画履行状況 調査時 (26年5月)	バイオ・化学部応用バイオ学科の入学定員超過の是正に努めること。	留意事項	金沢工業大学バイオ・化学部応用バイオ学科における平成26年度の入学定員超過率（別紙表2を参照）については、1.15倍となり入学定員超過は是正された。（26）	
設置計画履行状況 調査時 (27年5月)	工学部情報工学科において、定年規定に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見	<p>本学は、平成23年4月の設置届出書において提出した定年に係る「学校法人金沢工業大学就業規則」、「人材確保に関する規程」、「定年退職教職員の再雇用に関する規程」に基づいて運営されています。</p> <p>改善意見は、定年（60歳）を超えた教員が多く在職していることが不適切であるとのご指摘と考えますが、本学は創設以来、工学は実学であるとの考えから、企業等において技術者、研究者として貢献してきた方々を積極的に採用してきており、教員全体の約半数に上っております。そのため、どうしても教員の平均年齢が高くなる傾向があります。</p> <p>ご指摘の年齢構成につきましては、平成27年4月には情報工学科の教員の充実を図るため、51歳、50歳および45歳の教員を本学科に異動し、引き続き改善を図ってまいります。（27）</p>	教員の構成が特定の範囲の年齢に著しく偏ることがないよう今後も努めてまいります。（27）

（注）・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

表1 入学状況（入学定員超過率）

区分		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平均入学定員 超過率
金沢工業大学 バイオ・化学部 応用バイオ学科	A：入学定員	人 80	人 80	人 80	人 80	倍 1.33
	B：合格者	290	263	273	359	
	C：手続者	157	136	149	136	
	D：入学者数	121	93	101	111	
	手続率 C/B	0.54	0.51	0.54	0.37	
	手続者入学率 D/C	0.77	0.68	0.67	0.81	
	入学定員超過率 B/A	1.51	1.16	1.26	1.39	

表2 入学状況（入学定員超過率）

区分		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平均入学定員 超過率
金沢工業大学 工学部 情報工学科	A：入学定員	人	人	人	人	1.24 倍
	B：合格者		200	200	200	
	C：手続者		638	770	559	
	D：入学者数		319	376	287	
	手続率 C/B		0.50	0.48	0.51	
	手続者入学率 D/C		0.75	0.78	0.74	
	入学定員超過率 D/A		1.20	1.47	1.07	

区分		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平均入学定員 超過率
金沢工業大学 工学部 ロボティクス学科	A：入学定員	人	人	人	人	1.23 倍
	B：合格者	100	100	100	100	
	C：手続者	279	305	384	330	
	D：入学者数	154	156	164	156	
	手続率 C/B	0.55	0.51	0.42	0.47	
	手続者入学率 D/C	0.75	0.8	0.87	0.68	
	入学定員超過率 D/A	1.17	1.25	1.43	1.07	

区分		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平均入学定員 超過率
金沢工業大学 【平成23年度以前】 情報学部 メディア情報学科 【平成24年度以降】 情報コンテンツ学部 メディア情報学科 [学部名称変更]	A：入学定員	人	人	人	人	1.28 倍
	B：合格者	120	120	120	120	
	C：手続者	335	362	407	351	
	D：入学者数	170	197	194	170	
	手続率 C/B	0.50	0.54	0.47	0.48	
	手続者入学率 D/C	0.83	0.88	0.83	0.81	
	入学定員超過率 D/A	1.18	1.45	1.35	1.15	

区分		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平均入学定員 超過率
金沢工業大学 バイオ・化学部 応用バイオ学科	A：入学定員	人	人	人	人	1.23 倍
	B：合格者	80	80	80	80	
	C：手続者	263	273	359	275	
	D：入学者数	136	149	164	143	
	手続率 C/B	0.51	0.54	0.45	0.52	
	手続者入学率 D/C	0.68	0.67	0.67	0.64	
	入学定員超過率 D/A	1.16	1.26	1.38	1.15	

7 その他全般的事項

<工学部 情報工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
①英語教育課程・英語科目 「TOEIC® (A/B)」 「TOEIC® (C)」 ②教職に関する科目 「教育哲学」 「教育法規」 「道德教育の研究」 「数学科教育法」 「理科教育法」	①科目名の変更 TOEIC®が登録商標であることや科目名から授業の内容が理解しづらいという点から科目名を変更。 「TOEIC® (A)」及び「TOEIC® (B)」を「実用英語演習Ⅰ」に変更 「TOEIC® (C)」を「実用英語演習Ⅱ」に変更 ②科目の廃止及び科目名の変更 教職に関する科目の教育内容の充実を図るため科目内容及び科目名を変更。 「教育哲学」の廃止 「教育法規」を「教育制度論」に変更 「道德教育の研究」を「道德教育の理論と実践」に変更 「数学科教育法」を「数学科教育法Ⅰ」「数学科教育法Ⅱ」に変更 「理科教育法」を「理科教育法Ⅰ」「理科教育法Ⅱ」に変更

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 ・添付資料1参照 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） ・添付資料2参照 c 委員会の審議事項等 ・添付資料3参照 ② 実施状況 a 実施内容 ・授業アンケート ・KIT-FD研修会 ・教育フォーラム ・工学教育研究誌「KIT Progress」の発行

b 実施方法

・授業アンケート

授業改善に学生の意見を取り入れる方法として、全ての開講クラスで授業アンケートを実施している。授業アンケートは、記名式のアンケート用紙を授業の最後に行われる自己点検授業時間で配布し、クラスの代表者が記入されたアンケート用紙をまとめて教務課に提出する。授業アンケート結果は約1ヶ月後に学内イントラネットで開示さ、授業担当教員は、この授業アンケート結果に対してフィードバックコメントを学内イントラネット上のシステムに入力することになっており、このフィードバックコメントも学内イントラネットで開示される。

・KIT総合アンケート調査

FDを推進し、継続的な教育改善活動を図るための一環として全学生、卒業生、教職員を対象としてKIT総合アンケート調査が年度末に実施されている。このアンケートでは、「授業」「学習環境・学習支援」「学習以外の学生生活」「就職支援」「サービスや機能（利用価値）」などに関する学生および教職員の満足度に対して調査を実施している。その結果を集計、開示することにより満足度を高めるための基礎データとしている。

・KIT-FD研修会

本学では、全教員を対象とした”KIT-FD研修会”を実施しており、特に教育技術の改善に関する指導に注力している。研修は4日間終日で構成されており、まず、学長より本学の教育理念、教育目標、教育改革のプロセス、教育改善への取り組みについて説明され、続いて、各部長による教育システム、プロジェクトデザイン教育、修学指導などについての講演と指導が行われる。2日目以降には個別の演習を含めた教育研修が行われ、教育技術を専門とする講師を招いて、学生に分かりやすい講義を行うための技法、教材開発、運用方法、時間管理、目標達成度の評価などの研修を受け、学生と教員が相互に教育効果を上げるための基本技術を学習している。また、講義のビデオ撮影による自己分析などを取り入れており、教育技術の個別指導が行われ、研修最終日には研修の成果としてグループごとに発表を行う相互討論を実施している。

なお、このKIT-FD研修会は教員全員に最低1回以上の受講が義務付けられており、特に、新任教員は就任1～2年目の受講が指導されている。

・教育フォーラム

教育フォーラムは本学が取り組んでいる様々な教育の改善策や成果を全教員と共有することをねらいに全教員を対象として開催され、「修学基礎教育課程」の取り組み、「工学基礎実技教育課程」の取り組みなど専門分野だけでなく本学の教育の特色を表す教育的取り組みや科目について教育成果や問題点が紹介されている。

「教育フォーラム」開催通知は庶務部より全教員に電子メールで通達される。また、全教員に予め配布される3ヶ月予定表にも掲載されている。

・工学教育研究誌「KIT Progress」の発行

本学が行っている「工学教育」の更なる向上発展に資することをねらいに、KIT Progress編集委員会が設置され、本学教職員および工学教育に関心を持つ学外の有識者を対象に、年1回発行される。各年に全教員を対象として「工学教育」に関するテーマが設定され、そのテーマに沿った論文、論説、事例報告などが応募される。これまで扱われたテーマとしては「専門実験・演習」「工学倫理」「コミュニケーションとプレゼンテーション教育」「専門教育」などがあり、各テーマで10から20件の報告がなされている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・授業アンケート

各学期に開講される全ての授業科目（開講クラス）に対して授業アンケート用紙を配布しており、その全ての授業科目で授業アンケート用紙回収が行えている。その結果、平成19年度より運用している現在の授業アンケートシステムには、対象となるほぼ全ての授業科目（開講クラス）についてのアンケート結果を学内イントラネットで教職員及び学生に開示できている。

・KIT-FD研修会

KIT-FD研修会は全学的に実施され、以下に示すような実績があり、毎年新任教員を中心に受講している。ただし、充実した研修を提供するために、一度の参加者数は、15名～20名程度としている。

KIT-FD研修会

開催日程	参加人数
平成26年9月 2日（火）～9月 5日（金）	20名
平成25年9月 3日（火）～9月 6日（金）	19名
平成24年8月28日（火）～8月31日（金）	21名
平成23年8月30日（火）～9月 2日（金）	20名
平成22年8月31日（火）～9月 3日（金）	7名
平成21年9月 8日（火）～9月11日（金）	15名
平成20年7月 8日（火）～7月11日（金）	16名
平成19年7月 3日（火）～7月 6日（金）	20名
平成18年7月 4日（火）～7月 7日（金）	11名

平成17年7月 5日(火)～7月 8日(金)
平成17年7月12日(火)～7月15日(金)

29名

・教育フォーラム

平成16年に始まった教育フォーラムはこれまでに年5回程度のペースで継続開催され、平成26年度までに44回開催し149テーマが発表された。また、実施後はフォーラムの配布資料および発表資料が学内イントラネットに開示されており、教職員全員がその内容を知ることができる。

・工学教育研究誌「KIT Progress」の発行

平成8年創刊号から平成26年度までに22刊が発行されている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教育点検評価部委員会を中心に、下記の取組による授業改善を実施している。
アンケート結果は「教員アンケート」による自己分析、「アンケート分析」の回覧による相互評価、科目担当者の打合せによる次年度学習支援計画書(シラバス)の改善などに使用されており、教育技術の継続的改善の基礎データとして生かされている。教育フォーラムの開催や工学教育研究誌「KIT Progress」の発行により、全教員に対する授業改善に関する情報の共有化が図られている。KIT-FD研修会では、本学の教育理念、教育目標、教育改革のプロセス、教育改善への取り組みなど教育についての講演と指導が行われ全教員の意思統一を行うと共に、講義を行うための技法、教材開発、運用方法、時間管理、目標達成度の評価などの研修を受けることで教育効果を上げるための技術の向上を実施している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

・授業アンケート

授業改善を目的とした授業アンケートは、共通設問及び科目独自の設問の構成になっており、各学期に開講される全ての授業科目の自己点検授業で実施されている。授業アンケート用紙は学生が回収し、学務部教務課に提出する。

b 教員や学生への公開状況、方法等

・授業アンケート

集計されたアンケート結果については、学内イントラネットで教職員及び学生に開示している。また、平成17年度より授業アンケート結果について、教員から学生へコメントを返す“フィードバックコメントシステム”を導入し実施している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

情報通信産業は、情報通信関連の機器、情報システム、そしてそれらを活用して提供されるソリューションやサービスについて、開発・製造、保守・運用などを担う中堅及び高度情報技術者への需要が高まっている。平成24年4月に設置した工学部情報工学科は、このような背景を踏まえ、工学部の他学科である機械系、電気系と融合を図り、広く工学の分野で起きている新しい情報化の進展に対応する技術力強化を図し、PBLなど実践力を強化する教育効果の向上と企業ニーズへの適合を狙ったものである。

1. 工学部情報工学科設置の趣旨及び必要性
計画どおりで変更なし。

2. 学部、学科等の特色
計画どおりで変更なし。

3. 工学部及び情報工学科の名称及び学位の名称
計画どおりで変更なし。

4. 教育課程の編成の考え方及び特色
未開講科目及び廃止科目はなく教育課程の編成計画どおりに科目を開講し、授業運営も適切に行なわれている。また、3年次以降についても変更の予定はない。

5. 教員組織の編成の考え方および特色
専任常勤の准教授（博士（理学））2名、准教授（博士（工学））1名が異動で加わった。また、2名が昇格し、准教授（博士（理学））、准教授（博士（知識科学））となった。届出時の計画から教員2名増（教授5名減、准教授8名増、講師1名減）となったが、情報工学科の設置の趣旨・目的を達成するための授業等を運営できる十分な教員を配置した教員組織であり問題はない。また過去に、異動となった教授2名が、兼担として科目を担当していること、情報工学科の教員は博士（工学）13名、博士（理学）3名、博士（情報科学）1名、博士（情報学）1名、博士（情報理工学）1名、博士（知識科学）1名、Ph.D1名の全教員が学位を取得している。また、年齢構成は65歳以下5名、60歳以下5名、50歳以下7名、40歳以下4名である。

6. 教育方法、履修指導方法及び卒業要件
教育方法については計画したとおり、基礎教育及び専門教育のそれぞれの授業内容に応じた教育方法が全学及び学科において準備されており問題はない。
履修指導については、1年次の修学アドバイザー（クラス担任）による履修指導體制を取っており、学生個々に対応した履修指導を行なうと共に、コンピュータシステムを用いたポートフォリオシステムの運用を行なっている。
卒業要件については、計画どおり変更はない。

7. 施設、設備等の整備計画
専門科目の施設、設備については、本年度学生募集を停止した情報学部情報工学科の施設、設備を活用するため問題はない。
基礎教育等の施設、設備等について全学で共有しており問題はない。
平成24年度に講義棟を1棟建設し、教育環境の充実を図った。

8. 入学者選抜の概要
入学者選抜についても計画どおり、
・ 進学の目的が明確な学生
・ 本学の教育システムを十分に活用できる学生
・ 技術者に求められる基礎学力を身につけている学生
を選抜するための5区分の入学試験を実施した。
それぞれの入試については、入試に関する資料及び本学ホームページにおいて公開している。
平成27年度入学者数は、218名（定員200名）と十分な入学者を確保できた。

9. 管理運営
計画どおりで運営されており問題なし。

10. 自己点検・評価
計画どおり教育点検評価部委員会が中心となり全学で実施している授業点検・授業改善の実施を予定しており問題はない。

11. 情報の公開
平成22年12月から必要な情報を探し易いように、トップページに「教育情報の公表」というボタンを設け、冊子形式にまとめたPDFファイルでも情報公表している。ホームページのアドレスは、「<http://www.kanazawa-it.ac.jp/ir/>」である。

12. 授業内容方法の改善を図るための組織的な取り組み
届出時に計画していた「KIT-FD研修会」、情報工学科の「FD研修会」等の開催を計画している。また、教育点検評価部委員会と中心とする教育改善の活動を実施する。これら活動は、これまでの情報学部情報工学科でも実施しており、運用に問題はない。

13. 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制
全学で実施されているキャリア教育とこれまでの情報学部情報工学科で行ってきた進路指導を実施を計画している。既に1年次生に対するキャリア教育が始まっており問題はない。

以上から届出時の計画からの変更はなく問題はない。また、次年度以降についても変更の予定はなく計画に沿った運用を行なう準備を進めている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・ 2010年 公表（日本経営品質賞への取り組み）
- ・ 2012年 公表（自己点検書）

b 公表方法

- ・ 大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 平成27年度に評価機関（公益財団法人 大学基準協会）の認証評価を計画

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（4）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (2015年 6月 1日)